



- 取り付け作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行ってください。
- オートバイ整備の基本的な技能や知識をお持ちにならない方は作業を行わないでください。
- 取り付けの際、車種ごとのメーカーサービスマニュアルと併せて作業を進めてください。
- 不正な取り付け、改造、仕様変更をしないでください。
- 異常を発見した場合は直ちに走行を停止し、点検してください。
- 仕様については予告なく変更する場合があります。
- 社外品のH.I.Dキット、LEDランプなどの高出力の電装品は、バラスト/インバーター(電圧変換装置)からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る場合がありますのでAPHMとの併用はお控えください。
- イモビライザー等の装着車は特にキーシリンダー周りへの配線にご注意下さい。イモビライザーの誤作動や商品不具合の原因となります。車両状況によってはノイズ対策が必要となる場合もあります。
- 本製品の熱収縮チューブで保護している基盤部は大変繊細な部位ですので、結束バンドなどで縛り付け圧迫しないで下さい。断線の原因になります。

※作業の際は必ずキーOFF、
センタースタンドを立てた状態で行ってください。

- ・ レッグシールドや左右のカバーなどの外装を取り外します。

※カウル類の脱着は下記QRコードまで
ご確認お願いいたします。



← [カウル類の脱着はコチラ](#)



- ・ エアクリナーボックスを外します。



- ・ 透明なビニールカバー中にある黒6Pのシフトセンサーのカプラーを分割します。

- ・ 分割した黒6PカプラーにAPHMの接続用ハーネスの6Pカプラーを確実に接続します。
【シフト信号入力】



- ・バッテリー付近にある赤6P診断カプラーの赤色キャップを外します

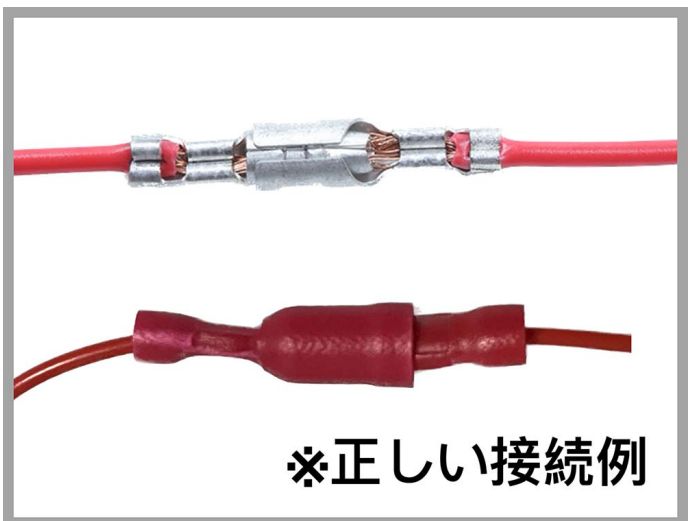
※カプラーのツメにマイナスドライバーを差し込み、ロックを外すと同時に上に引っ張るとキャップが外れます。



- ・ APHMの6P赤カプラーを診断カプラーの奥までカチッとなるまで割り込ませます。

【ACC電源入力】

- ・ APHMの6P赤カプラー側のオスギボシ端子をAPHMの赤線側のメスギボシ端子に確実に差し込みます。



取り付け完了後に

配線取り回しが走行に支障がないか確認します。

車両運転中に、配線が引っ張られたり、部品の間隙に配線を挟み込んで断線したりしないよう、無理がかからない位置へ慎重に固定して下さい。

【オプションパーツのご案内】：別売りで「専用取り付けステーAPMT」をご用意しております。よりコンパクトに設置したいという方にオススメです！
詳細はメーカーHPまで！

www.aipro998.com

メーカー保証について

本製品の保証期間はご購入日より2年です。

保証期間内に製造上の原因による品質不良がありました場合は、メーカーHPまでご連絡ください。

不良内容を確認のうえ、製品を修理もしくは交換させていただきます。

ただし、本製品の修理・交換以外のいかなる事柄

（物的損害、人的損害）に対して、弊社は賠償の責任を一切負いかねます。

あらかじめご了承ください。